

文学部A方式 I 日程・経営学部A方式 I 日程・人間環境学部A方式

3 限 選択科目 (60分)

科目	ページ	科目	ページ	科目	ページ
政治・経済	2～24	日本史	26～44	世界史	46～59
地理	60～72	数学	74～79		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

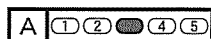
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

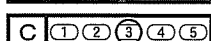
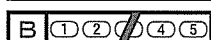
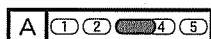
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(日 本 史)

〔I〕 つぎの史料1・2に記されたA～Dの各戸について、下記の問いに答えよ。なお史料1・2とも、元の戸籍・計帳から自由に抜粋・再編成しているので、解答にあたっては各戸ともそれぞれ全員の氏名が記されている完結した戸であることを前提にせよ。

〔史料1〕 下総国葛飾郡大嶋郷戸籍(721年)

A	戸主孔王部小山	年48歳	正丁	課戸
	妻孔王部阿古売	年52歳	丁妻	
	妾孔王部小宮売	年38歳	丁妾	
	男孔王部忍羽	年22歳	正丁	<u>兵士</u> 嫡子
	男孔王部忍秦	年5歳	小子	^a 嫡弟
	男孔王部広国	年4歳	小子	
	女孔王部大根女	年27歳	丁女	嫡女
	女孔王部刀自女	年19歳	次女	
B	戸主孔王部志漏	年51歳	正丁	課戸
	母土師部刀自売	年72歳	耆女	
	妻大伴部稻依売	年55歳	丁妻	
	男孔王部刀良	年20歳	少丁	
	女孔王部宮売	年23歳	丁女	
	女孔王部小宮売	年11歳	小女	
	弟孔王部龍麻呂	年41歳	正丁	
	男孔王部子秦	年1歳	緑児	
	女孔王部刀自売	年1歳	緑女	
	妹孔王部白売	年55歳	丁女	

〔史料2〕 山背国愛宕郡出雲郷計帳(726年)

C	戸主従八位下勲十二等出雲臣真足	年51歳	正丁	
	母赤染依壳	年77歳	耆女	筑紫国
	妻佐太忌寸意由壳	年55歳	丁妻	右頬黒子
	男出雲臣田主	年31歳	正丁	
	男出雲臣首名	年16歳	小子	右頬痣
	男出雲臣臣美阿良賀	年11歳	小子	左鼻柱黒子
	男出雲臣殿麻呂	年9歳	小子	
	弟従八位下勲十二等出雲臣豊足	年48歳	正丁	左眉黒子
	女出雲臣豊浦壳	年24歳	丁女	
	女出雲臣豊虫壳	年22歳	丁女	
	弟少初位上出雲臣国上	年35歳	正丁	授刀舎人
	弟少初位上出雲臣国繼	年32歳	正丁	右兵衛 ^b 額黒子
	従父出雲臣法麻呂	年36歳	正丁	養老2年逃近江国蒲生郡 ^c
D	戸主少初位上出雲臣広足	年69歳	耆老	右頬黒子
	妻錦部飯手壳	年61歳	老妻	右頬黒子
	男大初位下出雲臣忍人	年36歳	正丁	左臀黒子 左大臣資人
	男出雲臣真床	年34歳	正丁	和銅5年逃出雲国 ^d
	男出雲臣山村	年26歳	正丁	右耳下黒子 太政大臣家位分資人 ^e
	男出雲臣槻麻呂	年25歳	正丁	
	男出雲臣秦勝	年20歳	少丁	
	女出雲臣然志壳	年46歳	丁女	左頬黒子
	女出雲臣稻敷壳	年36歳	丁女	右頬黒子
	女出雲臣蓮羽壳	年12歳	小女	左頬痣
	女出雲臣酒屋壳	年4歳	小女	
	孫出雲臣大土	年19歳	少丁	右頬黒子

日本史

問1 下記の文章の組合せ a～c を読み、律令の規定を念頭に、つぎの指示にしたがって答えよ。

- ①・②がいずれも正しい場合は、アをマークせよ。
- ①が正しくて②が誤っている場合は、イをマークせよ。
- ①が誤っていて②が正しい場合は、ウをマークせよ。
- ①・②がいずれも誤っている場合は、エをマークせよ。

- a {
 - ① 受給した口分田の総額を比べると、戸Aの方が戸Bよりも多い。
 - ② 戸Aに見える兵士の口分田は、軍団の所属先で支給される。
- b {
 - ① 課税された調庸総額を布に換算して比べると、戸Cの方が戸Dよりも多い。
 - ② 戸C・Dに見える逃亡人は、逃亡時点で口分田を没収された。
- c {
 - ① 戸籍・計帳とも毎年作成しなおされるが、まず計帳が作成され、それに基づいて戸籍が作成された。
 - ② 戸籍・計帳とも永久保存するよう規定されていた。

問2 下線部 a 兵士についての以下の説明ア～エのうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 50戸につき2人の割合で徴兵された。
- イ 近在の国衙に所属して軍事訓練を受けた。
- ウ 一部は選ばれて衛士となり上京した。
- エ 食料は支給されたが、調庸は免除されなかった。

問3 下線部 b 舍人についての以下の歴史的経緯の説明ア～エのうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ヤマト政権下において、国造などの地方豪族が大王家に貢進した者に由来する。
- イ 女性の舍人を采女と称した。
- ウ 大王家の田荘の耕作に従事した。
- エ 大王家の品部のいずれかに配属された。

問4 下線部 c 兵衛についての以下の説明ア～エのうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 兵衛は宮城内諸門のうち外門(宮城門)の警備を担当した。
- イ 兵衛は宮城内諸門のうち中門・小門の警備を担当した。
- ウ 兵衛は宮城内諸門のうち内門(閤門)の警備を担当した。
- エ 兵衛府が再編されて近衛府となった。

問5 下線部 d 左大臣にあたる人物の名を以下の語群ア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 藤原房前
- イ 長屋王
- ウ 舍人親王
- エ 藤原武智麻呂

問6 下線部 e 太政大臣にあたる人物の名を以下の語群ア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。なおこの人物は大宝律令・養老律令の編纂に貢献し、右大臣となったが、死後太政大臣の位を贈られた。

- ア 藤原不比等
- イ 道鏡
- ウ 藤原仲麻呂
- エ 高市皇子

日本史

問7 上記の史料をふまえて、律令国家における人の支配方法と課税方法の特徴について、80字以内で説明せよ。なお歴史的事項については、漢字で答えること。句読点は1字分とし、算用数字は1マスに2文字記入してよい。

下書き用(横書き, 20字×4行=80字)→

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

日本で最初の本格的な武家政権である鎌倉幕府の政治は、その創始者である源頼朝のころは、將軍独裁の体制で運営されていた。頼朝は、京都から下級貴族をまねいて側近とし、公文所(後の政所)の長官()に大江広元、問注所の長官()に三善康信を任じた。頼朝の死後、嫡男の頼家^bが將軍になると、頼朝の旧側近と有力御家人の合議による政治体制となった。だが、御家人を中心とする政治を求める動きが強まるとともに、有力御家人のあいだで政治の主導権をめぐる争いが激化していった。

こうしたなか、頼朝の妻政子の父である北条時政は、頼家の側近である比企能員を滅ぼすと、頼家を廃して弟の実朝^cを將軍に立て、幕府の実権を握った。時政の嫡男である義時は、有力御家人の を滅ぼし、執権としての地位を確立した。この間、京都では、後鳥羽上皇が、広大な皇室領の莊園を経済的な基盤として院政をおこない、新たに をおいて軍事力を高めるなど、朝廷の勢力を挽回しようと試みた。

後鳥羽上皇と連携をはかっていた將軍源実朝が暗殺されると、朝廷と幕府の関係が不安定となった。北条義時は皇族を將軍にまねこうと交渉したが、後鳥羽上皇に拒否されて不調に終わったため、藤原 の子を將軍の後継者として鎌倉に迎えた。すると後鳥羽上皇は、畿内・西国の武士らを味方につけ、北条義時の追討を目的として兵をあげた。だが東国の武士の大多数が幕府のもとに結集したため、戦いは幕府の圧倒的な勝利に終わった。

この承久の乱の後、幕府の意向をうけて、仲恭天皇に代わって、 天皇が即位し、京都に幕府の出先機関として六波羅探題がおかれた。北条義時の後に執権となった泰時は、執権を補佐する連署^dをおき、ついで有力御家人などから評定衆を選んだ。評定衆は、執権・連署とともに、合議によって幕府の政務の処理や裁判を担った。

執権北条時頼は、祖父の泰時の政策を引き継ぎ、新たに引付衆を任命し、御家人の所領に関する訴訟を専門に担当させた。また、摂関家出身の將軍にかわって 皇族を將軍に迎えることに成功した。北条氏が幕府の実権を握るなか、中国では

日本史

モンゴルが大帝国を建てて国号を元と定め、高麗を服属させた。元は、日本が朝貢を拒否したため、軍勢を派遣して対馬・壱岐を攻め、博多湾に襲来した。執権北条時宗が主導する幕府は、おもに九州地方の武士を動員して迎え撃ち、元の軍勢を退却に追い込んだ。

問1 下線部 a の人物について述べた文として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

- ア 奥州藤原氏を滅ぼした後、上洛して右近衛大将に任じられた。
- イ 壇の浦の戦いの後、朝廷から東海・東山両道の支配権を承認された。
- ウ 保元の乱で父の義朝が平清盛に敗れた後、伊豆に配流された。
- エ 平重衡が南都を焼き討ちした後、以仁王の令旨を受けて挙兵した。

問2 空欄 に入る語句の組み合わせとして正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

- ア A - 執事 B - 所司
- イ A - 執事 B - 別当
- ウ A - 別当 B - 所司
- エ A - 別当 B - 執事

問3 下線部 b の人物について述べた文として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

- ア 相模の修禅寺に幽閉され、暗殺された。
- イ 頼家の遺児一幡は、將軍源実朝を暗殺した。
- ウ 頼家の妹は、後鳥羽天皇の妻となった。
- エ 頼家の娘は、將軍藤原頼経の妻となった。

問4 下線部cの人物の和歌が収められた勅撰和歌集として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。誤っているものがない場合には、オをマークせよ。

- ア 玉葉和歌集 イ 新後撰和歌集
ウ 新勅撰和歌集 エ 新古今和歌集

問5 空欄 1 に入るもっとも適した人名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

- ア 安達泰盛 イ 和田義盛 ウ 三浦義澄 エ 三浦泰村

問6 空欄 2 に入るもっとも適した語句を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

- ア 武者所 イ 侍所 ウ 検非違使 エ 西面の武士

問7 空欄 3 に入るもっとも適した人名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

- ア 道家 イ 兼実 ウ 信実 エ 信頼

問8 空欄 4 に入るもっとも適した人名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

- ア 後堀河 イ 後嵯峨 ウ 四条 エ 六条

問9 下線部dの職を務めたことのある人名を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

- ア 足利尊氏 イ 梶原景時 ウ 平頼綱 エ 北条政村

日本史

問10 下線部 e に関連して、鎌倉幕府が滅亡した時の将軍を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

ア 早良親王 イ 護良親王 ウ 守邦親王 エ 宗尊親王

問11 下線部 f に関して、元の使者として来日した僧侶を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

ア 蘭溪道隆 イ 一山一寧 ウ 夢窓疎石 エ 無学祖元

問12 下線部 g の人物が執権であった時期のできごとについて述べた文として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合には、オをマークせよ。

ア 御家人を救う対策として、永仁の徳政令が出された。

イ 裁判の基準を示すため、御成敗式目が制定された。

ウ 中国に渡航した経験のある栄西が、永平寺を開いた。

エ 鎌倉幕府によって、日蓮が佐渡に配流された。

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

徳川家康は、1590(天正18)年北条氏の滅亡により豊臣秀吉の命をうけて関八州へ転封となり、江戸城を本拠地とした。このとき、家康は豊臣政権の武将の一人であり、その末期には五大老の一人となった。そして、五奉行の一人で豊臣政権を存続させようとする石田三成と対立するようになり、1600(慶長5)年関ヶ原の戦いで三成らを破り、天下統一を成し遂げた。

その結果、勝利した家康は、西軍の諸大名を処分した。そして、家康は1603年これまでの伝統を継承して征夷大將軍の宣下を受け、江戸に幕府を開いた。これにより、国の代表者として外交を展開し、また国内の統治者としての立場をいかに発揮していった。

しかし、秀吉の子秀頼が政権の回復を願って大坂城におり、豊臣家を継いでいた。そこで、家康は1605年將軍職が徳川氏の世襲であることを諸大名に示すため、自らは將軍職を辞して子の徳川秀忠に譲った。その後、家康は居を江戸から駿府に移したが、大御所として実権を握り続け、豊臣氏が建立した京都方広寺の鐘銘を口実に、1614～15(慶長19～元和元)年、大坂の役で豊臣方に戦いをしかけ滅ぼした。

天皇や公家との関係では、1611年の天皇擁立の際には、天皇の讓位・即位まで武家の意向に従わせるほどの権力の強さを示した。その2年後には公家衆法度を出し、1615年に禁中並公家諸法度を制定して朝廷運営の基準を明示した。幕府は京都所司代らに朝廷を監視させたほか、武家伝奏を通じて朝廷に幕府側の指示を与えた。

この時期の幕府政治は、反幕府諸勢力に対抗しつつ、統一権力としての基盤を固める必要があった。そこで、その第一として幕府体制の強化に努めた。まず軍備を強化するとともに、將軍のもとに大規模な軍事動員が可能な体制をおし進めていった。また直轄領を幕府に集積し、年貢米の出納を明確にする必要があった。さらに、幕府の職制は3代將軍徳川家光のころまでに整備され、政務を統轄する老中、老中を補佐し旗本を監督する若年寄、大名を監察する大目付、旗本・御家人を監察する目付のほかに、寺社奉行・町奉行・勘定奉行の三奉行がおかれた。

日本史

また最高司法機関として評定所があった。地方組織としては、前述した京都所司代のほか、都市には城代・町奉行、農村部には郡代・代官が派遣されていた。1615年、幕府は大名に一国一城令を発し、また武家諸法度を制定してきびしく統制した。大名は石高に応じて、一定数の兵馬を常備し、戦時には將軍の命令で出陣し、平時には江戸城などの修築や河川の工事などに奉仕した。

その第二は経済上の政策であり、貨幣制度や陸上・河川にかかわる交通制度が整えられていった。その第三は、貿易・外交政策であった。幕府は、初めキリスト教を黙認していたが、キリスト教の布教がスペイン・ポルトガルの侵略をまねく恐れを強く感じ、また信徒が信仰のために団結することも考えられたので、1612年直轄領に禁教令を出し、翌年これを全国におよぼすことになった。

問1 下線部 a に関連して、織田信長や豊臣(羽柴)秀吉がかかわった戦いとして誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 織田信長らが姉川の戦いで朝倉義景らを破った。
- イ 織田信長らが長篠合戦で武田勝頼を破った。
- ウ 織田信長が桶狭間の戦いで今川義元を破った。
- エ 豊臣(羽柴)秀吉が賤ヶ岳の戦いで柴田勝家を破った。
- オ 豊臣(羽柴)秀吉が小牧・長久手の戦いで浅井長政を破った。

問2 下線部 b が存命していた時期に起こった出来事として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 海賊取締令を発令した。
- イ リーフデ号が土佐に漂着した。
- ウ 全国の枡を京枡に統一した。
- エ 天正大判が鑄造された。
- オ 聚楽第が造営された。

問3 下線部 c に任命された人物の名として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 増田長盛 イ 上杉景勝 ウ 前田利家
エ 毛利輝元 オ 宇喜多秀家

問4 下線部 d の説明として正しいものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 関ヶ原は、近江国内で中山道の宿駅であった。
イ 関ヶ原は、美濃国内で中山道の宿駅であった。
ウ 関ヶ原は、近江国内で東海道の宿駅であった。
エ 関ヶ原は、美濃国内で東海道の宿駅であった。
オ 関ヶ原は、飛騨国内で北国街道の宿駅であった。

問5 下線部 e に関する説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 石田三成は、京都で処刑された。
イ 小西行長は、京都で処刑された。
ウ 毛利輝元は、領地を削減された。
エ 上杉景勝は、領地を削減された。
オ 福島正則は、領地を削減された。

問6 下線部 f に関連して、徳川家康が将軍・大御所時代におこなった外交政策の説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 糸割符制度を創設した。
イ 朝鮮との講和が成立し、その使節が来日した。
ウ イギリスに貿易の許可を与えた。
エ オランダに貿易の許可を与えた。
オ 通商を求めてスペインに田中勝介を派遣した。

日本史

問7 下線部 g の家族関係の説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 徳川秀忠は、徳川家康の長男であった。
- イ 徳川秀忠の娘には、徳川和子(東福門院)がいた。
- ウ 徳川秀忠の子には、保科正之がいた。
- エ 徳川秀忠の兄弟には、三家(尾張・紀伊・水戸の三家)の祖となった者たちがいた。
- オ 徳川秀忠の孫には、5代将軍徳川綱吉がいた。

問8 下線部 h の説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア この法令が制定された際の天皇は、後陽成天皇であった。
- イ この法令を起草したのは、金地院崇伝であった。
- ウ この法令は、全17条から成り立っていた。
- エ この法令のなかで、天皇の学問専念が規定された。
- オ この法令のなかで、紫衣勅許の方針が示された。

問9 下線部 i に就任した人物として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 田沼意次
- イ 松平容保
- ウ 阿部正弘
- エ 安藤信正
- オ 堀田正睦

問10 下線部 j の説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 勘定奉行は、旗本より選任された。
- イ 勘定奉行の定員は、2名であった。
- ウ 勘定奉行は、代官を支配下においた。
- エ 勘定奉行は、評定所の構成員であった。
- オ 勘定奉行は、幕領の租税事務や訴訟を担当した。

問11 下線部kの説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 小判・一分金は計数貨幣、丁銀・豆板銀は秤量貨幣であった。
- イ 金座は、江戸と京都におかれた。
- ウ 銀座は、はじめ長崎・大坂におかれ、のち京都・江戸に移された。
- エ 銭座は、寛永期に江戸と近江坂本をはじめ、全国で10カ所前後開設された。
- オ 金貨・銀貨・銭貨の交換比率は、相場によってつねに変動した。

問12 下線部lに関連することがらとして誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 桃山時代にイエズス会宣教師が西欧の活字印刷機を伝えた。
- イ 高山右近はキリシタン大名であった。
- ウ 1614(慶長19)年、幕府はキリシタンの国外追放を実施した。
- エ 1615(元和元)年、幕府は平戸で宣教師・信徒らを処刑した。
- オ 島原の乱以前から九州北部を中心に絵踏が実施されていた。

日本史

〔IV〕 つぎの史料を読んで、下記の問いに答えよ。

外務省雇⁽¹⁾亜米利加合衆国人エツチ・ダブリュー・デニソン

右は、明治十三年五月十一日万国公法顧問として初めて外務省に雇入れ、爾来⁽²⁾茲に三十有四年。其間諸⁽³⁾外国との間に締結したる各種条約の立案、其他⁽⁴⁾諸般の調査・審理等を初めとして、凡そ重要の外交案件⁽⁵⁾殆と関与せざるなし。

今、其事績中一、二の例を挙げんに、井上⁽³⁾外務大臣並大隈⁽⁴⁾外務大臣を輔けて条約改正の事に当り、其後陸奥⁽⁵⁾伯外務大臣たりし際同しく条約改正の事業に参画して、帝国政府をして光輝ある外交上の成功を収めしめ、又明治二十七八年⁽⁶⁾戦役中広島大本營所在地に出張して戦時外交を輔け、講和談判に際しては献替⁽⁷⁾*参画⁽⁸⁾最努め、其後日英同盟条約の締結、満州に於ける露兵撤兵に関する交渉、続いて明治三十七八年⁽⁷⁾日露の大役⁽⁸⁾開始よりポーツマス講和条約締結に至る迄、当時の外務大臣を輔け拮据⁽⁹⁾*経営具さに苦心を重ねたり。

是等⁽¹⁰⁾は実に功績の最も顕著なるものを列挙したるものにて、其他の事績固より枚挙すへからず。(中略)同人は明治二十一年勲三等に叙せられ、其後二等を経て、明治三十五年勲一等旭日大綬章を賜はり、帝国政府雇外国人としては実に稀有の栄誉⁽¹⁰⁾を荷ひ(中略)今、其瀕死に際し特に桐花大綬章を賜はる様致度し。

(註)*献替…主君を補佐し可否を言上すること。 **拮据…忙しくはたらくこと。

史料は、読みやすくするため一部改変している。以下、同じ。

問1 下線部(1)に関連して、「亜米利加合衆国人」ではない人物を以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ヘボン イ フェノロサ ウ モース エ コンドル

問2 下線部(2)にもっとも関わりの深い史料を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 政治に関する事項を講談論議する為め公衆を集むる者は開会三日前に
(中略)其会主又は会長幹事等より管轄警察署に届出て其認可を受くへし。

イ 皇居又は行在所を距る三里以内の地に住居又は寄宿する者にして内乱を陰謀し又は教唆し又は治安を妨害するの虞ありと認むるときは警視總監又は地方長官は内務大臣の認可を経(中略)三年以内同一の距離内に出入寄宿又は住居を禁ずることを得。

ウ 左に掲ぐる者は政事上の結社に加入することを得ず。一 現役及召集中の予備後備の陸海軍軍人、二 警察官、三 神官神職僧侶其の他諸宗教師、四 官立公立私立学校の教員学生生徒、五 女子、六 未成年者、七 公権剥奪及停止中の者。

エ 国体を変革し又は私有財産制度を否認することを目的として結社を組織し又は情を知りて之に加入したる者は十年以下の懲役又は禁錮に処す。前項の未遂罪は之を罰す。

問3 下線部(3)に関連して、正しいものを以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 薩摩藩の下級武士であったが、幕末に五代友厚らと共に、薩摩藩留学生として英国に滞在した経験がある。

イ 土佐藩の上級武士として戊辰戦争において新政府軍に参加し、会津藩を攻略した経験がある。

ウ 長州藩の下級武士であったが、幕末英国に渡航し、その後新政府の官僚として渋沢栄一らと共に財政を担当した経験がある。

エ 佐賀藩の砲術家の家に生まれ、新政府の財政や台湾出兵、地租改正などを担当した経験がある。

日本史

問4 下線部(4)に関連して、誤っているものを以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1881年、立憲制度の創設に関わる急進的な意見書を提出して参議を辞職することとなった。
- イ 1882年、立憲改進黨という政党の党首となった。
- ウ 1889年、黒田清隆内閣の外務大臣として憲法発布を迎えた。
- エ 1907年、東京専門学校（現慶応義塾大学）の総長となった。

問5 下線部(5)にもっとも関わりの深い史料を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 余は素と山口の一微臣（中略）自ら銃剣ひっさげを挈て卒伍に投じ、敵兵をして一步だも我が領土を踏まざらしむべし。（中略）君国のため難たおに斃るゝも亦臣子の本分にあらずや。
- イ 貴国は立憲政体採用已後十五年間に長足の進歩なを為せり。凡そ立憲政治の成果は個人主義及び自由主義の完全なる発現にあり。而して貴国は此の事業に於て已に最高度の成功を遂げたるものと云ふべきなり。
- ウ 清国に対しては戦勝の結果を全収すると同時に露、独、仏三国の干渉をして再び東洋大局の治平かくじょうを攪擾するに至らしめざりしもの（中略）余は当時何人を以て此局に当らしむるも亦決して他策なかりしを信ぜむと欲す。
- エ 十一月下旬より十二月上旬に亘り二百三の高地を力攻して遂に之を奪取し港内に蟄伏ちっぷくせる敵艦を撃沈せり。（中略）作戦十六箇月間我將卒の常に勁敵てきと健闘し忠勇義烈たお（中略）殪るる者皆陛下の万歳を喚呼し欣然として瞑目。

問6 下線部(6)にもっとも関わりの深い史料を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 今回の戦争は朕素より不本意なり。閣臣等戦争の已むべからざるを奏するに依り、之れを許したるのみ。

イ 世人以て内務大臣子爵品川弥二郎等の計画的干渉の然らしむる所と為す(中略)政府反対党を以て不忠の徒とし(中略)不忠者を圧迫せんとせしなり。

ウ 累次の宣言に拘はらず依然満州に占拠し益々其の地歩を鞏固にして終に之を併呑せむとす(中略)極東の平和亦素より望むへからず。

エ 軍費賠償の要求を捨て、辛うじて彼をして樺太の南半を割かしむるに止まりたるを知り(中略)有力新聞亦概ね条約反対の論説を展開する所あり。

問7 下線部(7)にもっとも関わりのうすい史料を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 尽力せるの功を賞し、内閣総理大臣(中略)子爵桂太郎に伯爵を、英国駐劄特命全権公使(中略)男爵林董に子爵を授け、(中略)外務大臣(中略)小村寿太郎を(中略)華族に列し男爵を授け(中略)賜ふ。

イ 大不利顛国か日本帝国に於て執行したる裁判権(中略)特典、特権及免除は(中略)全然消滅に帰したるものとす。

ウ 一方か(中略)別国と戦端を開くに至りたる時は、他の一方の締約国は厳正中立を守り併せて其同盟国に対して他国か交戦に加はるを妨ぐること。

エ 本国にては非常に騒ぎ居候よし。斯の如き事に騒ぎ候は、恰も貧人が富家と縁組を取結びたる喜しさの余り鐘太鼓を叩きて村中かけ廻る様なものにも候はん。

日本史

問8 下線部(8)にもっとも関わりの深い史料を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 東学党の乱(中略)全羅道より起り、檄を飛ばして官庁を襲ひ、官吏を殺し、倉廩^{そうりん}を破り、武庫^{こぼ}を毀ち、兇險前年の比にあらず。

イ 朕茲に内廷の費を省き六年の間毎歳三十万円を下付し、又文武の官僚に命し(中略)同年月間其の俸給十分一^いを納れ以て製艦費の補足に充てしむ。

ウ 朕は明治十五年の条約に依り、兵を出して変に備へしめ、更に朝鮮をして禍乱を永遠に免れ治安を将来に保たしめ以て東洋全局の平和を維持せむ。

エ 左右を顧みて宣^{のたま}はく、今回の戦は朕が志にあらず。(中略)事万一蹉跌を生ぜば、朕何を以てか祖宗^{そそう}に謝し、臣民に対するを得んと。

問9 下線部(9)に関連して、誤っているものを以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ポーツマスはアメリカ合衆国のニューハンプシャー州にあるが、交渉が行われたポーツマス海軍工廠の建物は隣のメイン州に所在する。

イ 講和会議を斡旋したアメリカ合衆国大統領フランクリン＝ローズヴェルトは、1906年にノーベル平和賞を受けた。

ウ 桂太郎内閣総理大臣、山本権兵衛海軍大臣、寺内正毅陸軍大臣らは、アメリカ合衆国からの講和斡旋の申し出に応じることを決めた。

エ 小村寿太郎外務大臣と高平小五郎駐米公使が全権委員に任じられた。

問10 下線部(10)に関連して、「帝国政府雇外国人」ではない人物を以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ロエスレル

イ モッセ

ウ パークス

エ ボアソナード

問11 この史料が書かれた当時の天皇の名を解答欄に漢字2文字で記せ。

(白 紙)